



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第**110**号

令和8年7月15日



定例会毎に発行

河津町議会だより



町の未来を一緒に考えよう

議会PR 動画より

- P. 2～P. 3 出張！河津町議会
- P. 4～P. 5 中学生アンケート
- P. 6 定例会
- P. 7～P.12 町政を問う
 - ▶一般質問（6人）

- P.13 議員月例会
- P.14 委員会・議会のうごき
- P.16 私の一言
 - ▶現河津町議会議長 渡邊 弘
 - ▶前河津町議会議長 遠藤 嘉規



YouTube で
議会映像配信中



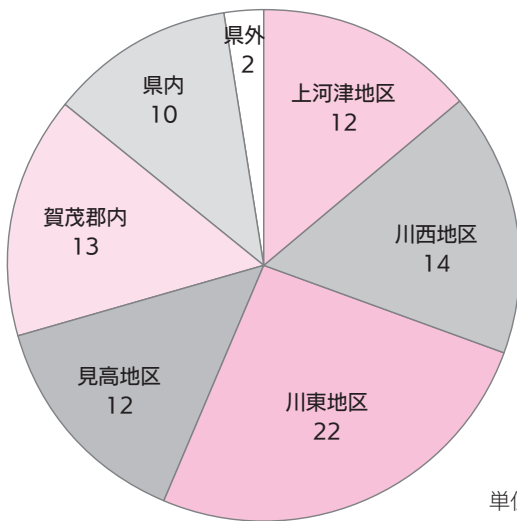
河津町議会
WEBサイト

出張！河津町議会 Part3

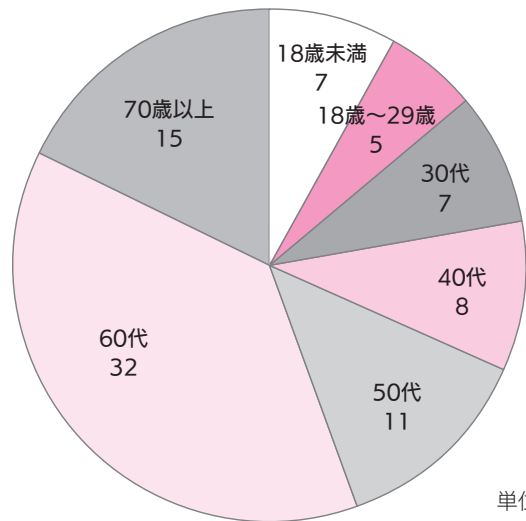
in 河津寄って軽トラ市 令和8年3月22日(日)

河津桜まつりについて聞いてみました！

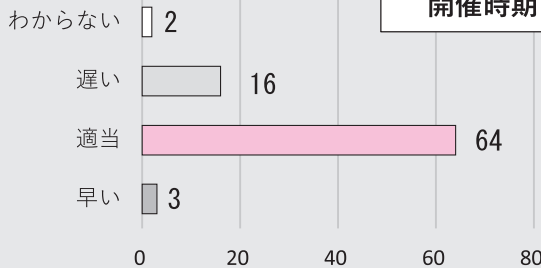
居住地は？



年齢は？



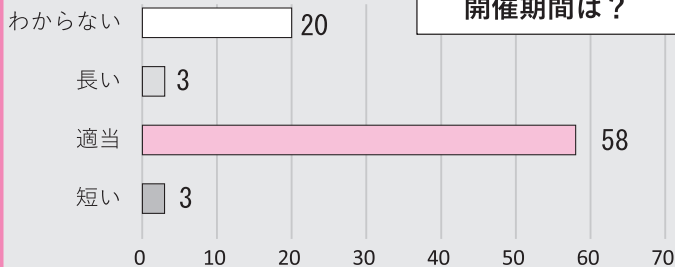
開催時期は？



- ・毎年2月1日からに固定（5人）
- ・毎年同じ日に固定したほうが良い
- ・ぎりぎりまで待って開花時期に合わせる

今年は開催期間と開花時期が重なったため、ちょうど良かったとの意見が多かった

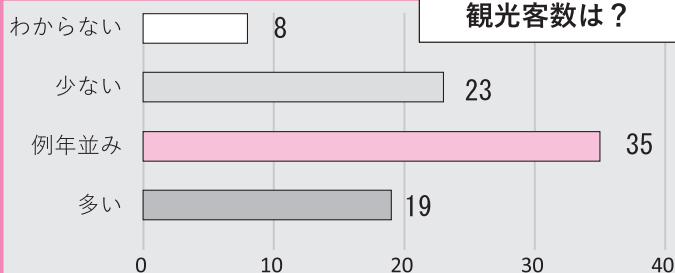
開催期間は？



- ・開花時期がわからないので1か月が適当だと思う
- ・1か月は長いと思う

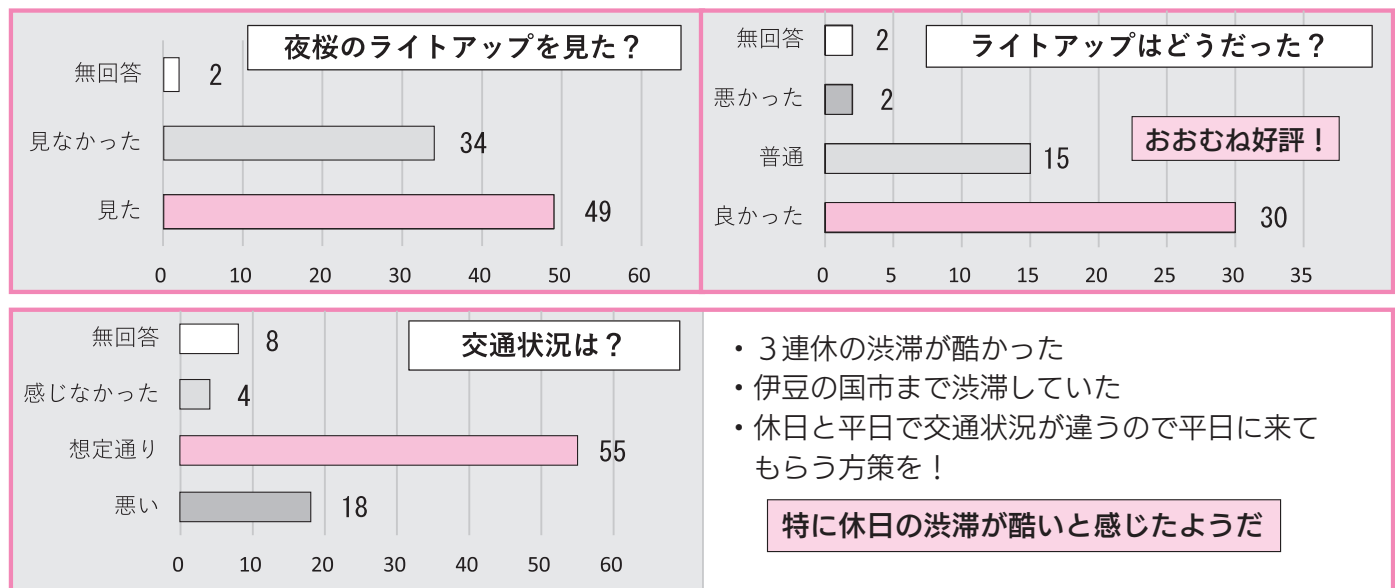
1か月くらいが妥当だとの意見が多かった

観光客数は？



- ・今年は中国からの来客が少なかったので静かだった
- ・平日は観光客が少なかった
- ・後半が少なかった気がする

平日と休日で観光客数が大きく変わるので人により感じ方が異なるようだ



桜まつりに思うこと

- ・運営は大変だと思うが、毎年楽しみにしているのでこれからも頑張ってください。
- ・町内の他の地域でも見られるようにして。
- ・地元の人がもっと河津桜を好きになればもっと盛り上がると思う。
- ・写真を撮れるスポットがもっと欲しい。
- ・ステージイベント等があれば盛り上がる。
- ・ライトアップをもっと工夫すれば更に良くなる（ライトの色・水面に映る等）。
- ・何年も渋滞等が改善されない。町民にとって非常に迷惑。やめてください。

ここは改善して

- ・役場から原木へ向かう付近の道路は歩道が無く危険！
- ・トイレが少ない。汚い。もっと増やして。
- ・トイレの横に喫煙所があるが、あそこは桜と電車が撮れる貴重なスポットなので喫煙所を移動して。
- ・ゴミの散乱が酷い。臨時のゴミ箱を設置して。
- ・地元の出店者をもっと増やして欲しい。
- ・駐車場情報を見なかったが通信環境が非常に悪かった。改善してください。
- ・駐車場代が高い。もっと安くして。

河津寄って軽トラ市でのアンケートにご協力いただき本当にありがとうございました。

皆さまから頂いたご意見を町内の関係団体の皆さんに周知し、河津桜まつりがより良くなるよう議会からもお願いしていきます。

今後も軽トラ市でアンケートの機会を作りますので、多くの方のご意見をお寄せください。

子どもたちから

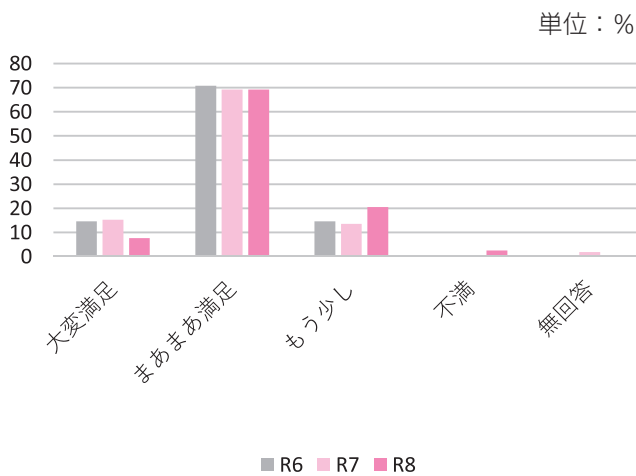
- ・登校や下校の時に危ない運転の車が多いもっと安全運転をお願いします。
- ・桜まつり期間中に学校の休みが欲しい。
- ・もっと色々な店を増やして欲しい。
- ・大人なんだからゴミはきちんと捨ててください。
- ・ゴミ箱をもっと増やしたほうがいいと思う。



河 中 3 年 生 に 聞 き ま し た

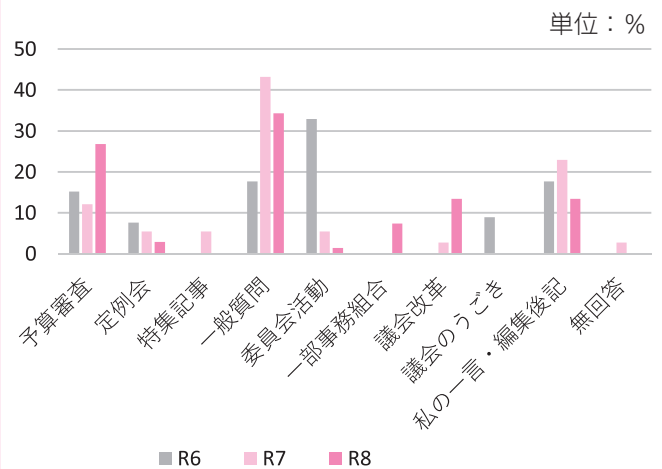
河津町議会では議会改革を進める中で広報の重要性を再認識し、さらに若い町民の皆さまに議会活動を知っていただくため、一昨年・昨年に引き続き、3年後に選挙権をもつ未来を担う河津中学校3年生に3月定例会の内容を記載した「議会だより109号」と「全国議長会作成のリーフレット」を読んでいただき、議会と町政の関わり及び本紙についてのアンケートに回答いただきました。

Q2 「議会だより」に対する満足度は？



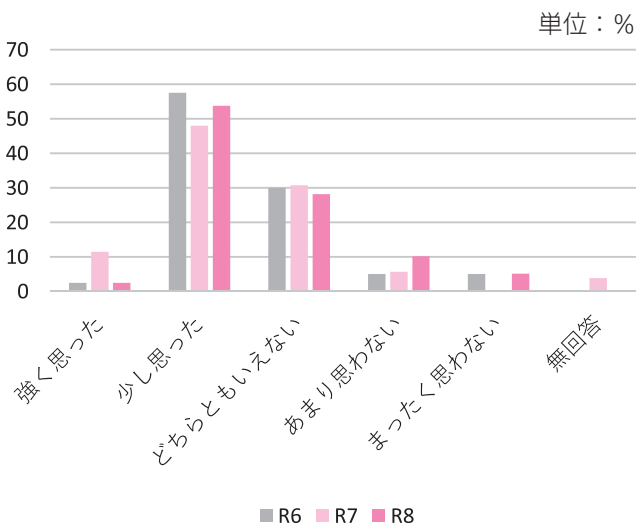
・おおむね満足してもらっている。

Q1 「議会だより」の記事で「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？（複数回答可）



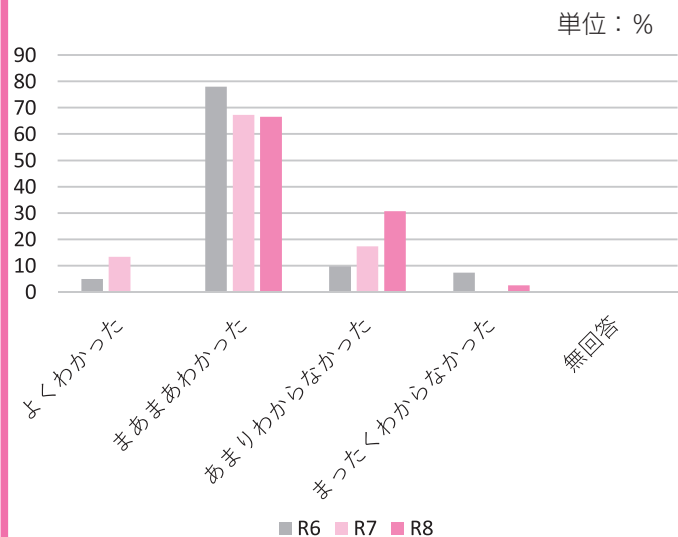
・一般質問や予算審査については目を通してもらっている。

Q4 河津町の政治にもっと関心を持つべきと思いましたか？



・半数以上の生徒に関心を持っていただけだ。

Q3 議会の活動内容について、伝わりましたか？



・おおむね理解してもらっている。

Q 5 将来河津町がこんな町なら住みたいと思うことをお聞かせください（記述式）

●町の雰囲気に関する意見

- ・観光名所をもっと
- ・近代化
- ・安全で平和な町
- ・人口の増加

●環境等に関する意見

- ・都会になれば
- ・芝生がある場所
- ・自然あふれるまち

●行政に関すること

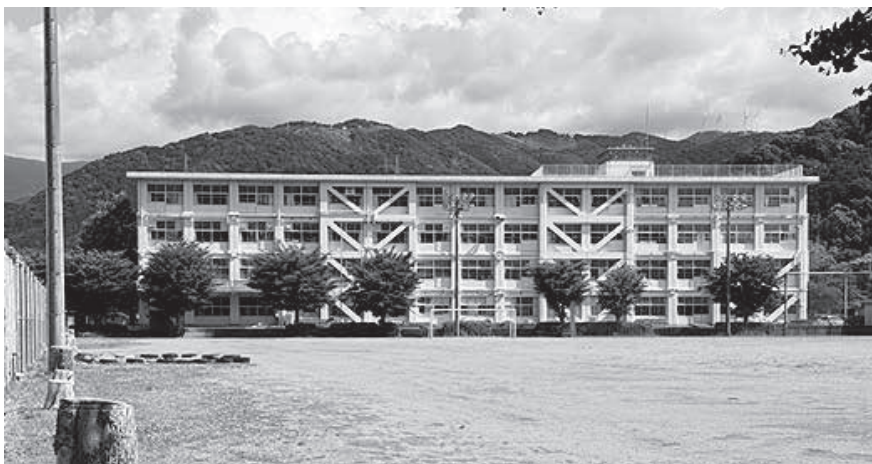
- ・イベントが毎月ほしい
- ・子どもの遊び場所
- ・勉強スペース
- ・財政力指数のアップ
- ・最低賃金の上昇
- ・桜まつり以外にも力を入れる
- ・桜まつりに安くする
- ・図書館がほしい

●都市機能に関する意見

- ・お店がほしい
- ・働ける場所
- ・遊べる場所
- ・コンビニがもっと欲しい
- ・ショッピングモール
- ・映画館がほしい
- ・本屋がほしい
- ・飲食店
- ・上河津地区にドラッグストアが欲しい
- ・電車の本数を増やす
- ・バスケットコートを作って
- ・自由に使える体育館



アンケートにお答えいただいた皆さま、ありがとうございました。



議会だよりは年に4回、定例会開催翌月に各戸配布しています。今回のアンケートを機会に、議会や町のことに関心を持つきっかけになれば幸いです。

議会だよりでは読者の皆さまからのアンケートを実施しています。15PのアンケートはQRコードからも簡単に回答することができます。わかりやすい「議会だより」を作成するため皆様のご意見を聞かせてください。



スマホで簡単にアンケート回答できます

令和8年 第2回 定例会(抜粋) 令和8年6月2日・4日

諸般の報告、町長の行政報告、議員による一般質問6名に続き、専決案件3件、報告事項2件、人事案件1件、条例案件1件、単行議決1件、補正予算5件、全13議案を審議し、可決・同意・承認した。

可決された議案

●令和7年度一般会計補正予算

- ・交付税確定による補正
- ・田尻川管理道路陥没に対し緊急工事をするための河川維持事業

●令和7年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書

○令和7年度予算の中で令和8年度にまたがり執行する主な事業

＜物価高騰対応重点支援事業＞

- ・食料品等物価高騰支援
- ・宿泊施設等支援
- ・水道料金負担軽減
- ・簡易水道料金負担軽減
- ・福祉施設等給食費支援
- ・保育園児等給食費支援
- ・プレミアム商品券
- ・プレミアム工事券
- ・学生等通学費補助
- ・学校等給食費支援

●河津町税条例の一部を改正する条例について

- ・個人住民税関係
 - ・固定資産税関係
 - ・軽自動車税関係
- 地方税法等の一部改正に伴い河津町条例の一部を改正する。

●令和8年度一般会計補正予算

- ・令和8年度人事による職員の配置替えのための補正
- ・観光庁補助事業採択による補正

入札結果（4月から6月1日まで）

建設工事等の名称	受注者	契約金額(円)	建設工事等の名称	受注者	契約金額(円)
下河津漁港（見高地区）浚渫業務委託	山内組	4,510,000	河津町国民健康保険特定健康診査受診勧奨等業務委託	レセ・スタッフ株式会社	2,360,600
浜・笹原街路樹管理業務委託	植信造園	5,940,000	河津町国民健康保険特定保健指導等業務委託	レセ・スタッフ株式会社	1,507,000
令和9年度消防ポンプ自動車（第6分団）購入	株式会社畠山ポンプ製作所	32,780,000	河津町高齢者保健福祉計画等策定業務委託	株式会社明豊	1,936,000
地籍調査業務委託（見高Ⅱ・見高Ⅲ）	有限会社渡辺測量事務所	7,810,000	河津町地域福祉計画等策定業務委託	株式会社明豊	2,552,000
笹原地区道路施設改修工事	株式会社大塩組	5,940,000			

町政を問う

一般質問



町内に群生する「ナガミヒナゲシ」の花と種



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



えん どう よし のり 議員
遠 藤 嘉 規

質問

ナガミヒナゲシ等の外来植物対策は

答え 他市町の状況を確認して対応したい

質問

外来生物のナガミヒナゲシが町内で多く見られる様になった。この植物は根から他の植物の成長を阻害する毒物を出し、他の植物を枯らし

等の懸念もある。県や他市町では駆除や注意喚起を行っている所もあるが町内の現状認識は。

町民生活課長

町に外来種に関する問い合わせは1件も無く、繁殖状況も把握していない。

質問

町民にどのような情報提供や注意喚起を行っているのか。

町長

外来種対策は当町のみならず、近隣市町との連携が必要。周辺自治体の状況を確認し、必要に応じて情報提供や注意喚起を行っていく。

質問

早い段階で状態を把握し、町民への周知が重要ではないかと思うが町長 近隣市町の状況を確認し対応していきたい。

質問

防火水槽の多目的利用の考えは

答え 生活用水・飲用水として考えている

質問

町内の防火水槽の設置状況と老朽化対策は。

防災課長

町内防火水槽72カ所の内、29カ所が耐震性防火水槽。老朽化施設は、給水装置の修理など延命措置を講じ、機能維持に努めていく。

質問

災害時の防火水槽の多目的利用（生活用水や飲料水）と、利用方法

の住民への周知は。

防災課長

防火水槽の多くは水道管から給水されているが、一部は自然水を貯水しており、全てが飲用可能ではない。災害時には、生活用水としての活用その他、20基の浄水器を使い飲用も想定している。浄水器の使用方法は、防災士会等の協力

を得て、防災訓練等を通じて周知を進めたい。

質問

地区から防火水槽の整備要望と設置に向けたスケジュールや課題は。

町長

昨年度は2地区から水利確保の要望があり、現在は設置について協議・調整を進めている。設置に至らない場合や時間を要する事もある。

町政を問う

一般質問



郷土に親しむ活動



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



わた なべ まさ あき
渡 邊 昌 昭 議員

質問 河津町教育大綱の郷土愛について

答え 河津町らしい教育の推進に努める

質問 本年度から新たな

未来を目指す河津町教育

大綱が制定され、郷土愛

を育む施策を詳細にして

いる。私も郷土を愛する

必要を感じているが、郷

土を愛する教育の必要性

をどのように考えるか。

町長 以前に行われたア

ンケート結果からも郷土

を愛する教育は重要だと

感じている。河津桜が町

民の心の基軸であると感じ

ているが、それらを醸

成させるのが郷土愛であ

り、それらを育む教育で

あると思っている。

教育長 幼少中の12年の

継続的な地域との関わり

が誇りを育み、郷土愛が、

激変する社会を生き抜く

子どもたちの心の支えと

なる。

質問 郷土愛を育む具体

的な教育とは。

教育長 学校教育、社会

教育で地域の歴史、自然、

文化を学ぶ活動を実施し

ている。今年度の新たな

取り組みはないが、今後

も教育大綱に則り、河津

町らしい教育の推進に努

質問 1次産業と6次産業の支援は

答え 町が一つになって産業を守る

質問 町長就任時の重点

施策の一つに1次産業の

活性化協力と6次産業化

の支援と言ったが、1次

産業の魅力化とブラン

ディングの向上方策とは。

町長 町が直にブラン

ディングをするわけでは

なくブランドディングへの

支援や1次産業への支援

質問 新たな価値を見出

す6次産業に、国や県の

補助事業を活用して支援

にあたるのとことだが、

具体的にはどのような形

を目指すのか。

町長 特産品、地域資源

を生かしていかなければ

ならないと感じている。

カーネーションやわさ

で河津の魅力を発信でき

るのではないかと感じて

いる。体験は付加価値が

高いが、1次産業の方

はそれが見えない部分も

あるので、観光協会等と

一つになって産業を守る

といったことも含めてみ

んなで協力していきたい

町政を問う

一般質問



来園予定のコモドドラゴン



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



くわ はら たけし
桑 原 猛 議員

質問 転出抑制対策は

答え まず転出理由を把握する

質問 総務省の人口移動報告で河津町の転出超過

数が増加したことに強い危機感を持った。転出理由把握のため、ライフステージ別の詳細アンケート調査を実施できないか。

町長 河津町においては、令和6年がマイナス21人だったのに対し、令和7年はマイナス66人

と、前年の3倍を超える数字になっており、第5次総合計画は目標年度の令和12年度の定住人口の総人口が6千人としている。4月1日現在の人口で、6163人となっており、想定人口を下回る時期が早まるのではと心配している。提案の年代別人数の調査は必要と

考える。今後担当課と検討する。

質問 転出理由を把握し、転出の抑制策は考えられないか。

町長 笹原地区の区画整理地のように、新築住宅が建ってきているところもあるので、今後施策に反映できることがあれば、検討していきたい。

質問 観光ビジョンの策定は

答え 最優先課題と認識している

質問 町長の掲げる「稼ぐ自治体」実現に向け、具体的な方針は。

町長 スモールスタートの年として、予算編成して進めている。自主財源も多くなり、有利な起債や事業に対しての国県の補助金なども探しながら、財源確保のために、ふるさと納税の増収や新たな

目的税の検討はしていく必要があると考えている。基礎体力をつけ、外部との連携を進めるプロセスを重ねることで、町にとって得るべき正當な対価や果実が自然と返ってくる。それこそが私の目指す稼ぐ自治体の本来の姿である。

質問 「体感型動物園

“Zoo”の「コモドドラゴン来園を好機と捉え、町の観光の羅針盤となる包括的観光ビジョンの策定の考えは。

町長 観光ビジョン策定を最優先課題と認識し、担当課に指示済み。補助金獲得のためにも計画は不可欠であると考えている。

町政を問う

一般質問



すれ違い困難な町道見高入谷1号線



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



まさ き せい じ 議員
正木 誠司

質問 桜まつりの迂回路渋滞対策は

答え 桜まつり実行委員会で検討

質問 第36回河津桜まつりは、約63万人の来訪客を迎え盛況のうちに閉幕した。一方で見頃宣言後の週末に迂回路となる見高入谷地区では断続的な渋滞が発生し、見高入谷区民や通りがかった町民が車両誘導等にあたった。来年度以降、迂回路の渋滞対策はどうするのか。

町長 第36回河津桜まつりは、外国人客を含め多くの方々が訪れた。近年はライブカメラやSNSの情報でピーク日の局所化が顕著であり、渋滞を避けるため見高入谷地区への車両流入が増え、通行障害が発生したことも伺っている。

産業振興課長 注意喚起の看板設置を含め、今後は桜まつり実行委員会の交通部会で検討するものと承知している。しかし、渋滞対策にも限界があり充分に対応できない事案もあるため、引き続き町民の皆さまのご協力とご理解をお願いしたい。

質問 移住希望者への就業支援は

答え 国や県の制度を活用する

質問 移住にあたっては住居と仕事が必要だと考える。就業支援はどのような制度があるのか。

携させた住居と仕事セットの支援制度の構築ができないか。

町長 地域おこし協力隊員による空き家バンクの運営、売り主買い主の対応、登記や契約等幅広く対応している。

産業振興課長 就農希望の様々な条件に合わせ、農地バンクの紹介、農業委員会への手続き等の説明を行っている。自治体により条件が違いため安易な空き家バンクとのセットは考えていない。

企画調整課長 ハローワークでの求人情報やオンライン職業相談、静岡労働局や県ハローワークが実施している就職セミナー等を案内している。

企画調整課長 店舗を現状の営業形態で後継者を探す行為は不動産業の圧

質問 空き家バンクと連

探す行為は不動産業の圧

セットは考えていない。

町政を問う

一般質問



無料開放中のバガテル公園



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



きた じま まさ お
北島正男 議員

質問 河津桜の重点施策の進め方は

答え 原木の維持をはじめ組織づくりで

質問 「河津桜発祥の地の磨き上げとプライドの構築」については、ゴールイメージが見えにくい

が、課題山積のままでは成り立たない。現在のプランはどのような状況か。

町長 最優先は原木の維持管理と、河津川沿いの桜と名木の保全。また、駐車場・トイレ・ゴミや、

観光を支える人材確保など、地域負荷を軽減する対策をこれからも行いたい。

景観の維持や、観光客の回遊性を高める2次交通の確保も、大きな検討課題だ。

任期中に実現したい「河津桜サミット」で当町がハブとなり、河津桜

を大切にしている自治体

や地域と連携し、検証し合つ場を作りネットワーク構築が一つのゴールと思う。同時に、ルーツを持つ当町として「河津桜認定制度」等、企画推進する組織づくりが必要と思う。

質問 情報錯そうのバガテルの行方

答え 用地借用の問題が先行課題

質問 町から無くすことや活用しないことに不安はないか。

観光中心の町と誰もが言うが、観光スポットのトイレを撤去したり、国指定重要文化財が二つもあるのに、活用する方向性は見えない。観光スポットも合わせ、ビジュアル訴求の表示物が必要

と過去お願いした。

無くすのか、活用するのか、町民の心配事のバガテル公園の、情報が錯そうして、町民にわかりづらく不安となる。

バガテル公園の進捗は。

町長 土地の借用は、令和12年3月までであり、それを解決しないと、次に進めないで一貫してい

る。定植されているバラ

は、パリ市と協定解約を進める中で、取り扱いついて検討していきたい。

企画調整課長

基本協定

締結のバガテル協会は活動なく連絡が取れない。

支援協定締結のパリ市と連絡を取り、対応を進める。

他、障害者施設の存続。

町政を問う

一般質問

地域医療介護総合確保基金を活用した自治体の取組（２）
（静岡県～外国人介護人材受入事業所への巡回相談や研修交流会の実施等による職場定着支援～）

- 地域の特有の課題解決を図るため、自治体によっては地域医療介護総合確保基金を活用した柔軟な取組が行われている。
- 静岡県では、外国人介護人材の定着支援のため、外国人介護人材サポートセンター事業として、外国人介護人材を受け入れる事業所への巡回相談や研修交流会を開催等により、職場定着支援の取組を行っている。

事業概要

- 県内では介護職員の慢性的な不足が喫緊の課題であり、外国人介護人材の受入れ支援に取り組んできた結果、県内で働く外国人介護職員数は年々増加している。
- 外国人介護職員に対するアンケート等から、職場で働く上で、様々な課題があることを把握した。
（異国で働く不安、孤立感、言語・文化の違い等について問題を感じているなかなか相談しにくい状況。）
- 本県で安心して長く働き続けられるため、本人が抱える不安・悩みに対するサポート環境整備が必要と判断。
- 地域医療介護総合確保基金を活用して実施。

事業内容

1 巡回相談
①相談員が介護事業所を訪問
②外国人職員本人から仕事及び生活上の不安や悩みの聞き取り
③②を受けて必要なアドバイスを行う

2 研修交流会
同じ国籍の職員を集め、仲間づくりができる研修交流会を開催（テーマ例）
・日本の介護に関する現状
・文化及び生活習慣等への理解を深める
・介護の資格をとるには

実績・効果

- 巡回相談：36回実施（令和5年度）
- 研修交流会：16回開催・延べ168人が参加（令和5年度）
※フィリピン・ベトナム・インドネシア・ミャンマー、国籍不問の前を実施。
- 研修交流会参加者アンケートの主な内容
・もっと日本語や介護の勉強を頑張りたい。
・介護についているんわからないことがわかった。
・新しい友達とお話できて楽しかった。
・同じ国の友達と色々話せて楽しかった。
・頑張って介護の資格を取りたい。
・先生の話を聞いて、未来のことを考えた。



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



ふく ざわ ひろ ゆき
福 沢 宏 幸 議員

静岡県の外国人材定着支援の取り組み例（厚労省 HP より）

質問 移住・定住・関係人口増加策は

答え 体制を整備する

質問 自治体による情報発信力の強化策は。

町長 4月から町内在住コープコーバーを河津町アンバサダーとして起用した。その他は今後検討したい。

質問 オンラインコミュニケーションサイト「with KAWAZU」の活用は。

質問 外国人材の確保と受入れは

答え 受け入れは一つの手段と考える

質問 地域医療・介護の人材不足への現状確認と対策は。

健康増進課長 賀茂圏域の医療従事者数は全国平均を下回る状況が続いている。地域医療資源の存続に向けた課題解決を検討していきたい。

福祉介護課長 今年度、高齢者福祉計画・介護保

企画調整課長 農業体験・移住相談会・ツアー

に関しての情報発信の媒体の一つとして活用していく。

質問 SNSとリアルイベントの融合による関係人口の継続的育成は。

企画調整課長 今年3月に立ち上げた移住定住ポータルサイトやSNS

質問 医療・福祉等の有資格移住者への優遇措置は。

町長 近隣の制度を確認して今後の支援制度の構築に向けて検討していく。

険事業計画を策定し、その中で課題を検討し、計画に盛り込んでいく。

質問 エssenシャルワーカーの生活支援制度の策定は。

町長 現在の状況を維持し守る施策を考えたい。投資的施策や移住施策も含めて考えていく。

健康増進課長 保健師就

質問 外国人材の受入れ強化と支援は。

町長 人材確保は取り組むべき課題であり、外国人材の受入れは一つの手段と考え、サポートを検討していく。

議員月例会

第1・第2の各常任委員会が主催し、議員全員で受講

4月22日

「人口減少に直面する

賀茂地域の現状と課題」

講師

賀茂地域局次長兼地域課長 飯田雅之氏

静岡県広域移住コーディネーター橋口真紀氏

講義内容の抜粋

●賀茂地域における将来推定人口

・2050年には半減し、65歳以上が50%を超える。それにより、各産業における人手不足が加速し、需要と供給のバランスが崩れる。

・河津町・東伊豆町エリアではその需要が、医療65%・介護82%と減少し、対して施設（水道・ゴミ処理など）の規模が相対的に過大となり効率の低下が懸念。人口が半減しても、

持続可能な行政サービスは広域連携などで、業務集約機関設置、文教施設共同管理、福祉事務所の共同化、建設関連の共同化、広域ラ

イドシェアなどの集約や取り組みがあり得る。

講師

賀茂地域の住民アンケートによると

この人口半減について、40%が知らない。移住者の受け入れは、71%が賛成

人口減少に伴う課題解決して欲しいことは、医療・福祉・公共交通、教育体制が上位。

・近所の付き合いは84%が「ある」と回答、全体では、挨拶や立ち話程度が上位だが、40代以上で「地域活動に参加」が増える。

5月18日

「賀茂地区の県立高校について」

県教育委員会高校教育課学校づくり推進室

室長 河内慶太氏

主査 八木裕真氏

講義内容の抜粋

●私たちが直面している現実（背景）

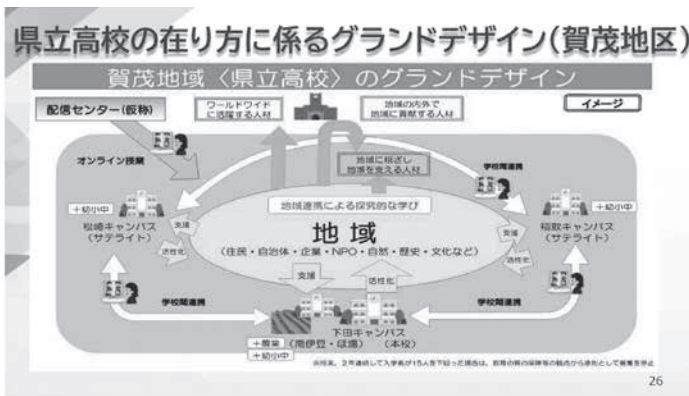
変化の激しい社会であり少子化と人口減少が加速、2039年には15歳人口が現在の106万人から70万人となる。静岡県を含め、賀茂地区でも少子化が進んでいる。

少子化に伴い、各高校の学級減が進んでいる。公立高校は2040年までに現在の89校から60校に再編される。

●賀茂地区の高校の在り方について

「県立高等学校の在り方にかかわる地域協議会」を経てグランドデザイン

の策定



方向性

小規模校のメリットを活かし、地域に密着したきめ細かい教育を行い、地域全体をフィールドとした学びを展開。地域の将来や世界で活躍する人材を育成。

将来像

・学びの拠点を存置し、かつ学習集団の規模確保のため4校が連携したキャンパス制への移行

・遠隔配信センターの設置

・各キャンパスにおける市町（小中学校）との連携「賀茂地区県立高等学校におけるキャンパス性の導入公表」、本年3月「キャンパス制に関する基本構想の策定」に至った。

賀茂地区県立高等学校におけるキャンパス制に関する基本構想

(今後のスケジュール)

令和8年6月	キャンパス別構想(教育目標・学科・部活等の方向性)の公表
令和9年3月	基本計画(行事予定・カリキュラム案等)の公表
令和9年4月～	キャンパス制移行準備(時間割、内規、行事計画、各種式典等)
令和10年4月	キャンパス制開始

月例会資料より

★2、「河津ザクライド」平常時とイベント時の利用実績の比較

河津ザクライド

実証実験第2回と3回の比較

期間	第2回 9/27～10/10の14日間 平常時	第3回 2/14～2/23の10日間 河津桜まつり開催時(開花はほぼ ピーク)
料金	2,5*以内100円 5*以内500円 5*以上1000円	2キロまで200円 あと1*ごと200円
乗車回数	99回 1日平均7,1回	121回 1日平均12,1回
乗車料金	38,800円 1日平均2,771円	52,300円 1日平均5,230円
全走行距離	668* 同 47,7*	606* 同 60,6*
賃走距離	327,5* 同 23,4*	296,9* 同 29,7*
参考		
営業タクシー 料金に換算	乗車料金計 194,000円 1日当たり 13,855円	乗車料金計 261,500円 1日当たり 26,150円
(仮) 公共 ライドシェア	＜営業タクシーの料金の80%とした場合＞ 1日当たり約11,000円	
ドライバーの 収入 (5時間労働)	＜仮に運営事業費とドライバー人件費を各1/2とした場合＞ 1日当たり約5,500円 (時給1,100円 ほぼ、県最低時給なみ) 1日当たり10,500円 (時給2,100円 これなら 運転希望者はいるはず・・・) (あくまでも、大雑把な数字の当て込みです。)	

第1常任委員会

共助版ライドシェア

「河津ザクライド」

4月14日

第3回実証実験振返り

第1常任委員会・商工会

観光サービスマン部会・観光

光協会と、全国自治体フ

イドシェア連絡協議会・

静岡県地域交通課が参

加。

河津ザクライドは、交

通空白時間を無くし、町

民や観光客の利便性を高

め、人流・交流・経済と

観光おもてなしの好循環

の一助となり、私たちが

考えるその先の町の活性

化を目指していく事に少

なからず貢献でき、多く

の感謝の言葉をもらっ

た。

今後は、共助版から公

共版のライドシェアに移

行すべきと意見が一致し

た。

委員会の活動として、

町への提言を含め、二次

交通の充実と、町の活性

化を目指す。

第2常任委員会

4月17日

議員月例会の内容検

討、防災強化にかかる提

言書のまとめの方向性、

伊豆縦貫道要望活動につ

いて協議した。

4月22日、5月12日

議員月例会の具体的

内容の確認と、伊豆縦貫

道要望活動の詳細の検討

など協議した。

広報常任委員会

3月19日・31日、

4月6日

「議会だより109号」

の作成と発行。

3月22日

「出張！河津町議会」と

して、河津寄つて軽トラ

市に参加し、町民との会

話促進と、多くの町民を

主としたアンケートを実

施した。今回のテーマは、

終わったばかりの「河津

桜まつり」について協力

を願った。

5月28日

次号「議会だより110

号」の編集内容を協議。

議会改革特別委員会

3月13日、4月17日、

5月25日

「議員のなり手不足」解

消の一つとして、議員の

活動や選挙について、

YouTubeを活用した動

画の作成について協議

し、実行に至った。

※現在は公開しておりま

せん。



収録の様子

議会のこうじ



渡 邊 弘 議長

- ・議会議長会の事業2件
- ・出納検査報告 3件
- ・議長に要請のあった
諸会合など 6件
- ・議長の行事出席 5件

◇その他の活動(抜粋)

- ・第1、第2常任委員長
の出席会議 6件
- ・一部事務組合 2件
- ・国民健康保険管理運営
協議会に協議会議員が
出席
- ・河津寄つて軽トラ市に
参加
- ・春の交通安全運動街頭
広報活動に議長、議員
が参加

議会だより第110号

締め切り
8月末日必着

読者アンケート

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に
アンケート回答
ができます

- 送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。

複数回答可）

- | | |
|---|--|
| ☐ P.2～P.3 出張！河津町議会 | ☐ P.13 議員月例会 |
| ☐ P.4～P.5 中学生アンケート | ☐ P.14 委員会・議会のうごき |
| ☐ P.6 定例会 | ☐ P.16 私の一言・編集後記 |
| ☐ P.7～P.12 町政を問う（一般質問） | |

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

- ☐ 1. 大変満足 ☐ 2. まあまあ満足 ☐ 3. もう少し ☐ 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に
「踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。

なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前（任意）	
ご住所（任意）	
連絡先（任意）	

無記名でも回答いただけます。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきましたご意見・ご感想は、議会だよりで紹介及び議員内で共有させていただく場合があります。また取材や原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会から改めて連絡いたします。回答いただいた個人情報は、ご本人の許可なく外部に提供することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX 番号 0558-34-1405

E-mail: gikai@town.kawazu.lg.jp

～私の一言～



前河津町議会議長
遠藤 嘉規

「議会を変えれば
未来は変わると信じて」

私自身誤解していたのですが、議員には出来る事と出来ない事があります。

しかし、議会の機能を十全に発揮できたら、出来る事が多くなる。町民の声が形になりやすくなる。議会改革は最も重要な課題だと思います。

4年前、前期の議長に決まった際に、3つのテーマを決めました。

1. 町民の声を聴ける仕組み作りとして、議会広報と広聴の充実。
2. 議会機能の強化をする常任委員会の活性化と政策提言書の提出。
3. 議会改革を通し、女性や若者が立候補しやすい環境整備。

この改革を確実に進めるためには、議会改革専門の特別委員会を編成し、議員全員で同じ目的のため本気で取り組む必要がありました。議会改革に終わりは無く、町民の役に立つ議会を目指して改革は続くと考えます。



現河津町議会議長
渡邊 弘

「議会改革特別委員会を
振り返り」

令和5年4月、議会改革特別委員会委員長に就任し、先ず取り組む課題の意見交換を行いました。今後の課題として、町議会議員のなり手不足解消がテーマに上がり、取り組む課題として、議員報酬の見直し、デジタル化の推進、議会モニター・サポーター、反問権の付与等が出され、活発な議論を行いました。

河津町では18年間に渡り特別職報酬等審議会が開催されていない状況であったため、開催の要望を町へ行い、全国平均並みの報酬への見直しがされました。

また、町長へ反問権を付与し、的確な質疑が行えるように改善をしました。

デジタル化の推進に伴い電子機器の持ち込みなど改革に取り組みました。議会モニター制度や、なり手不足解消は継続課題となりますが、素晴らしい議会改革特別委員会でした。



編集後記

「町民に身近な議会」を目指し、常任委員会活動の活発化など、様々な議会改革に取り組んでまいりました。軽トラ市でのアンケート活動やSNSでの発信など、議員の活動を身近に感じていただく機会も増えたと思います。

本年10月には町議会議員選挙が行われます。政治は私たちの暮らしに深く関わっています。より良い町づくりのため、多くの皆さまが政治に関心を持ち、積極的に参加されることを期待いたします。(正木)

広報常任委員会

委員長 渡邊昌昭

副委員長 正木誠司

委員 福沢宏幸

〃 北島正男

〃 桑原 猛

次回定例会は9月開催予定です。